

くまもと市議会だより

いちよう

水、緑、情熱で
くまもと市

平成25年

6月
第7号

トピックス → 詳細は3ページをご覧ください

「桜町・花畑地区 再開発事業関連予算」について

ニュース

2013年の国連“生命の水(Water for Life)” 最優秀賞(水管理部門)受賞

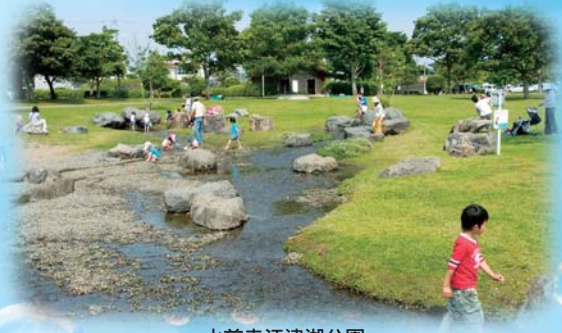
オランダ・ハーグ市において開催された「世界水の日 国際式典」において熊本市が国連“生命の水(Water for Life)”最優秀賞(水管理部門)を受賞し、表彰を受けました。なお、日本からは本市がはじめての受賞となります。



河内町鼓ヶ滝



水前寺江津湖公園
(下江津地区)



水前寺江津湖公園
(広木地区)



<http://kumamoto-shigikai.jp/>

熊本市議会

検索

<http://www.facebook.com/kumamoto.shigikai>

熊本市議会公式 facebook

検索



議長 さいとう さとし
齊藤 聡

くまもと市議会だより「いちよう」をご覧いただき、ありがとうございます。

平成25年第1回定例会におきまして、第51代議長に就任いたしました。責任の重さを痛感するとともに身の引き締まる思いでございます。

熊本市は、平成24年4月に政令指定都市となり九州の拠点都市を目指しておりますが、重要課題が山積しております。このような市政の重要課題につきましては、議会においても十分に議論を深めていくことが重要であると考えており、活発な議論の中にも円滑な議会運営に誠心誠意取り組んでまいります。

市民の皆様の期待に応えられる議会を目指して万全を期してまいりますので、今後とも、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

正副議長あいさつ



副議長 すずき ひろし
鈴木 弘

くまもと市議会だより「いちよう」をご覧いただき、ありがとうございます。

議員の皆様からのご推挙を賜りまして、第57代副議長に就任させていただきました。

二元代表制のもと、市政の監視役である市議会の役割は益々大きくなっております。執行機関の評価機能だけでなく、議会の政策形成機能を十分に発揮していくために議員各位が自己研鑽に努め、議会の積極的な改革を図ってまいります。

市民の皆様とともに、市民生活の向上を第一に考え、市民の皆様方の意見を市政に反映できるよう一生懸命に頑張っております。

最後になりましたが、皆様方の御指導と御協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶に代えさせていただきます。

平成25年第1回定例会のあらまし

平成25年の第1回定例会は、2月25日から3月26日までの30日間にわたって開かれ、平成25年度当初予算をはじめ、緊急経済対策のための補正予算、条例など市長提出議案201件のほか、7件の議員提出議案を審議しました。

議決結果は、市長提出議案201件、議員提出議案7件は原案どおり可決、請願4件については不採択となりました。（なお、議第1号 平成25年度熊本市一般会計予算、議第13号 平成25年度熊本市公共用地先行取得事業会計予算については、予算決算委員会において、附帯決議を付すことが決定、桜町・花畑地区再開発事業の附帯決議に関する特別委員会が設置されました。※附帯決議の詳細はトピックスをご覧ください）



また、本会議最終日には、議長、副議長の選挙が行われたほか、各委員会の委員が変更され、新しい委員会構成が決定しました。最後に、両副市長をはじめ退職する職員に対し、税所史照議員より慰労の言葉が述べられました。

平成25年第1回定例会日程

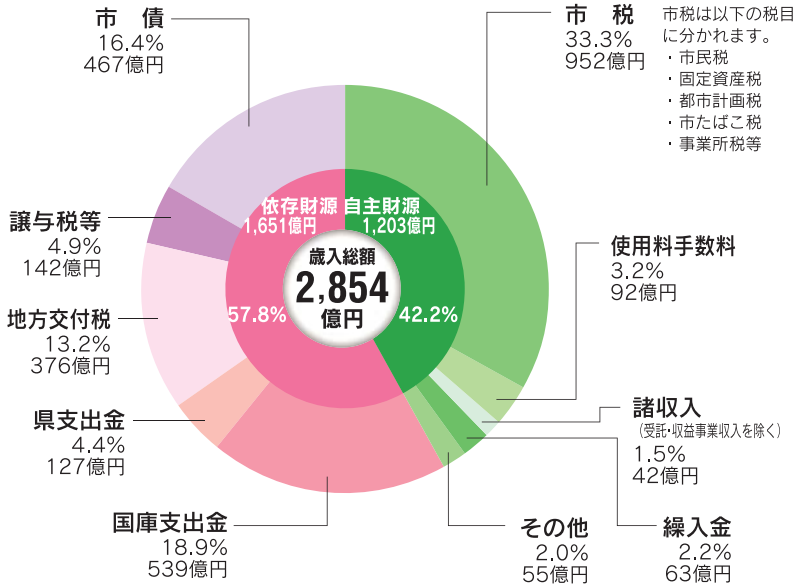
2月25日	開会（市長提案理由説明）
26日	予算決算委員会（補正予算）、同分科会
27日	予算決算委員会理事会
28日	予算決算委員会（分科会長報告、締めくくり総括質疑、採決）
3月4日	先議案件採決（委員長報告、質疑、討論、採決）
6日～11日	質 問
8日	議会運営委員会
12日	予算決算委員会理事会
14日～	予算決算委員会（当初予算など、総括質疑）
18日～	同分科会、部門別常任委員会
21日	予算決算委員会理事会
22日	予算決算委員会（分科会長報告、締めくくり総括質疑、採決）
25日	議会運営委員会、議会広報委員会
26日	閉会（委員長報告、質疑、討論、採決）

平成25年度当初予算の概要

平成25年度各会計予算

会計名	区分	平成24年度当初予算	平成25年度当初予算
一 般 会 計		2,758億8,700万円	2,854億2,000万円
特 別 会 計（※1）		1,982億4,371万円	1,965億4,663万円
一般会計・特別会計合計		4,741億1,371万円	4,819億6,663万円

一般会計歳入予算



主な議案の概要

平成25年度熊本市一般会計予算

政令指定都市移行後、初の編成となる平成25年度予算として、地場企業の振興、企業誘致など地域経済活性化推進経費に約262億円、熊本西環状線整備経費など交通体系整備経費に約66億円、防災・減災対策推進関連経費に約29億円など、総額2,854億7,000万円が計上されました。

熊本市公共交通基本条例の制定について

公共交通に関する基本理念や市民、交通事業者、市の責務および基本的な施策を定め、公共交通の維持・充実を図ることにより、円滑に移動可能な地域社会の実現を目指すための条例を制定しました。

熊本市下水道条例の一部改正について

下水道の使用料を不正に免れる事件を受け、不正配管防止を目的に井戸水等の使用届出制度の創設や立入調査権の付与等の措置を講じるため、条例を改正しました。

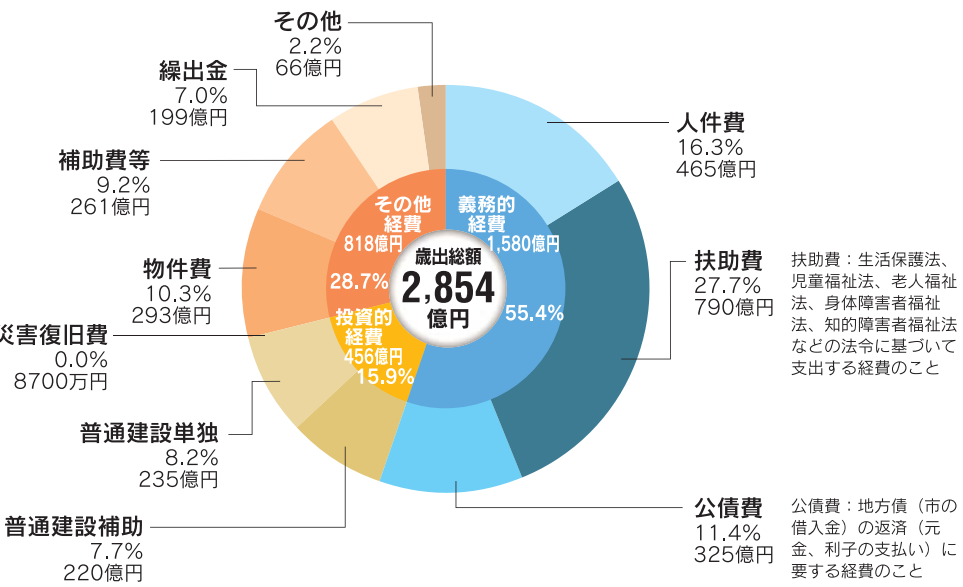
熊本市食肉センターの廃止等に関する条例について

本市のと畜場である熊本市食肉センターを廃止すると共に、同センターを廃止するに当たり、代替施設における牛・馬のと畜機能の確保及び職場が失われる解体作業員等への対応などに関し、必要な事項を定めるため条例を制定しました。



会計名	区分	平成24年度当初予算	平成25年度当初予算
病院事業会計		165億6,774万円	170億4,286万円
水道事業会計		230億5,035万円	232億4,189万円
下水道事業会計		385億9,300万円	375億7,838万円
工業用水道事業会計		737万円	1,123万円
交通事業会計		38億1,068万円	39億2,937万円
企業会計合計		820億2,914万円	818億373万円

一般会計歳出予算



これだけのお金がかかるといってもなかなかピンとこないですね。そこで、市の一般会計の予算を、ある家庭の収入支出の計画（予算）に照らし合わせたのが下の表です。

この表は、ある家庭の給料を熊本市の主な財源である市税、交付税等に見立てて計算しています。収入・支出の総額に対して、給料やローンの支払いがどれくらいの割合を占めるのか、といった視点で見ていただくと、熊本市の台所事情も理解していただけるかと思います。

ある家庭（年収500万円）の1年間の家計で考えると

収 入			
平成25年度一般会計予算		ある家庭の計画（予算）	
市税・交付税等	1,469億円	給料	257万円
市債	467億円	住宅等ローン借入	82万円
国県負担金	666億円	親からの支援	117万円
その他	252億円	パート収入等	44万円
合 計	2,854億円	合 計	500万円

支 出				
平成25年度一般会計予算			ある家庭の計画（予算）	
義務的経費	人件費	465億円	食費・教育費など	82万円
	扶助費	790億円	医療費・保険料	138万円
	公債費	325億円	ローンの返済	57万円
投資的経費		456億円	自宅の修繕費・家財購入費	80万円
その他		818億円	仕送りその他	143万円
合 計		2854億円	合 計	500万円

予算決算委員会で締めくくり総括質疑が実施され、平成25年度当初予算及び平成24年度補正予算について採決した結果、賛成多数により可決しました。

その後、桜町・花畑地区再開発事業関連予算に対し、執行への合意形成を図る上でのさらなる議論が必要であり、予算執行を凍結し、特別委員会を設置して議論を行うことを趣旨とした附帯決議（※2）案が提出され、賛成多数により可決しました。

これを受け、桜町・花畑地区再開発事業の附帯決議に関する特別委員会が設置されました。

●桜町・花畑地区再開発事業関連予算の概要について

桜町・花畑地区再開発事業関連予算として、産業文化会館解体経費1億9,700万円、隣接用地取得及び建物取得経費15億600万円、MICE 施設整備事業費2,200万円など、合計約17億6,000万円が平成25年度当初予算に計上されました。

●これまでの経緯

花畑町の再開発については、当初、市・地権者による花畑地区再開発協議会を設置し、文化ホール等の新たな施設の建設検討を開始し、産業文化会館の閉鎖・解体が決定しましたが、リーマンショックなどによる景気低迷の影響により施設の建設を断念。再開発は困難として同協議会は解散しました。

平成24年12月には、市は単独で産業文化会館跡地と隣接地を多目的

広場とする計画に転換し、中心市街地再開発基本計画に位置付けられた桜町地区へのMICE 施設整備方針と共に、議会に対し全員協議会や本定例会において説明を行い、多目的広場整備計画について理解を求めました。

●議会での指摘事項

このような経緯を踏まえ議会では次のような論議がありました。

- ☑多目的広場とする再開発事業の見直し案は、唐突に提案された感があり、議会において種々議論されたが、いまだに十分な理解と認識の共有がなされておらず、今後、さらに丁寧な説明と意見交換が必要と考える。
- ☑この事業の方向性については、中心市街地の活性化に関する特別委員会をはじめ、関係委員会での論議を踏まえて提案されていると考えるので、今後、議会としても指定都市に相応しい中心市街地となるよう協力して事業を推し進めるべきである。
- ☑桜町再開発事業に伴う仮バスターミナルの設置には、事業者の所有する敷地を活用すべきではないか。
- ☑旧産業文化会館は、発端となった民間事業者による再開発計画が頓挫したことで、廃止条例を含め閉鎖の根拠が失われていることから、必要な設備更新を実施し継続使用すべきである。

以上のように桜町・花畑地区再開発事業関連予算案に関する内容や提案に至った経緯などについて、指摘が相次ぎました。

分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

総務分科会・総務委員会

当初予算案審査については、まず、総務部門において、職員給与減額に伴う地域経済への影響、給与事務など定型業務の民間委託化や「公共サービス民間提案制度」導入に伴う業務選定のあり方、職員のメンタルヘルスやアルコール依存症対策など健康維持への取り組み、国県道維持管理業務に携わる県からの交流職員派遣期間満了後の人的手当について。財政部門においては、市税の滞納整理や特別徴収における通知のあり方について。消防部門においては、防災センターの拡充や市独自の防災ヘリコプターの導入など消防設備整備についてそれぞれ論議がありました。また、政令指定都市移行に伴う議会活動の充実を求めるうえでの議会事務同体制強化への要望がありました。

このほか、当委員会の所管事務調査として、執行部より「熊本市財政の中期見通し」について報告があり今後の歳入見通しや財政需要について論議があったほか、さきの衆議院議員総選挙での選挙事務の事案検証と問題の再発防止策について報告がありました。

企画教育市民分科会・企画教育市民委員会

当初予算案については、区のまちづくりに関して、各区役所が最大限に予算を活用し、特色あるまちづくりを行うとともに、公共施設の配置や防災対策などは、区ごとの不均衡が生じないように配慮してもらいたいとの要望が述べられました。

また、熊本市ホームページの改良について、記事の検索機能を強化するとともに、スマートフォン利用時にも閲覧しやすい画面の作成を行ってもらいたいとの要望が述べられました。

また、委員会の所管事務調査として、「学校給食運営検討委員会」についての報告を聴取し、食物アレルギーを持つ児童生徒の緊急時の対応については、教職員に対してマニュアルに沿った研修が実施されているとのことであり、引き続き、誤食事故防止に努めてもらいたいとの意見が述べられました。

福祉子ども分科会・福祉子ども委員会

当初予算案については、生活保護費に関し、生活保護基準の引き下げが受給者の生活に与える影響や、基準を参考に適用される他の福祉政策分野の減免制度への波及について論議があり、社会福祉施設指導監査に関しては、担当職員の社会福祉会計簿記等の専門的スキル習得の必要性について意見が述べられました。このほか、子ども・子育て会議については、事業主や労働団体、特に子育て世代などから広く委員を選任し、子育て支援事業計画に意見を反映してもらうよう要望がありました。

委員会においては、新たに障害福祉施策の対象となる難病疾患について、支援対象の拡大を国に対して求めていくよう要望がありました。

環境水道分科会・環境水道委員会

予算案については、ごみ収集民間委託における効率化と行政サービスの提供について、中心市街地における夜間の家庭ごみ収集の検討について、家畜排せつ物処理施設整備について、PM2.5モニタリング検査項目の充実と市民への適切な周知について、その他環境総合センター検査システム切り替えについて、食品中の残留農薬検査の充実について、上下水道総合管理システム開発の進捗状況及び上下水道事業の繰越額について意見要望が述べられました。委員会では、下水道条例の改正について、その運用と状況に応じた罰則規定の検討について要望がありました。

経済分科会・経済委員会

当初予算案審査については、食肉センター廃止に伴う関連経費並びに同センター廃止条例案の提案に対し、現状ではと畜機能の移転に係る関係者との協議が十分とはいえない、協議段階での廃止条例案の提案は、円滑な移転とならないのではないかと懸念する。さらに、今回の廃止に伴う条例案の位置づけは、公金支出に法的根拠を求めたものであり、慎重な判断と法的解釈を万全に備えることが肝要であるなどの意見が述べられました。

MICE 施設整備関連では、莫大な予算を投下する大規模施設の必要性、特色ある施設とするための市の主体性の発揮、予算承認による今後の事業費増加の危険性、事業費出資等での熊本大学・県との連携強化、中長期的視点から熊本の知名度アップに寄与する集客施設の必要性、中心市街地の立地条件を生かしたマーケティング強化等について意見が述べられました。さらに、旧産業文化会館の解体論議に関し、利活用に向けた改修等の検討、過去に可決された同会館廃止条例への認識の重要性等について論議がありました。

都市整備分科会・都市整備委員会

当初予算案審査については、まず、桜町・花畑地区再開発事業関連経費について論議があり、唐突に示された感が否めない多目的広場構想について議会への丁寧な説明や更なる協議を行うよう要望がなされたほか、広場予定地に隣接する駐車場の取得について意見要望が述べられました。そのほか、市中心部での夜間不法駐輪への対策や熊本駅東口駅前広場の整備状況に関する報告、未修繕のため入居案内できない市営住宅の早期修繕、城南スマートインターチェンジ整備に伴う用地交渉、飽田バイパス整備方法、などについて意見要望が述べられました。

補正予算については、より詳細な予算資料の作成や緊急経済対策関連補正予算について早急かつ慎重な工事発注を行うよう要望がなされました。

委員会では、ゆうゆうバスの運行条件の見直しや今後市営住宅として運営する熊本駅西都市再生住宅の入居募集のあり方について議論がありました。

予算決算委員会

～審査概要～

全議員参加により、24年度補正予算、25年度当初予算及び関連議案について審査を行いました。

審査の概要は、まず、補正予算に関する概況説明を聴取した後、6分科会による詳細な審査を行い、締めくくり総括質疑を実施し、採決いたしました。

その後、当初予算及び関連議案に関する総括質疑を2日間実施した後、6分科会による詳細な審査を行い、締めくくり総括質疑を実施し、採決

総括質疑

自 民 党

- 質疑 1** 25年度当初予算の目指すものと人口減少社会への対応は？
新年度予算編成で目指したものは何か？また、この2年間自民党として提言し続けている人口減少社会及び労働者人口減への対応が、予算編成にどのように反映されているのか？
- 質疑 2** 桜町・花畑地区再開発事業について
再開発に伴う過去7年間の不用だったと思われる3億4,170万円についての見解は？また税収増の見込めない中、両再開発事業の総予算の上限を設定した上で基本計画に入るべきである。さらには両再開発の一本化した基本構想を再策定すべきである。
- 質疑 3** 第6次総合計画基本計画中間見直しについて
総合的・計画的市政運営のための設計書であり、街づくりの指針である基本計画の見直しには、市民の参画と協働のもと改定されるべきと考えるが、そのスケジュールはどうなっているのか？
- 質疑 4** 熊本市自治基本条例制定後の初めての見直しについて
市民・議会・市という3者で、4年もの年月を掛けて制定した自治基本条例の最初の見直しの時期が来たが、どのような手続きで行うのか。また、市民・議会の意見は反映されるのか？
- 質疑 5** 熊本博物館リニューアルについて
総事業費2カ年で17億7,000万円でのリニューアルに伴い、県の展示スペースを設けるようだが、政令市の博物館として、情報発信基地として、県下全域の博物館という位置付けで整備してはどうか？
- 質疑 6** 適正かつ効率的な予算措置と執行
国の給与削減要請に伴う本市における人件費の予算措置状況と今後の対応方針及び交付税への影響と財政調整基金の取崩し予定について。
議員及び一般市民に分かりやすい予算説明資料等の提供について。
- 質疑 7** 町内自治振興補助金、総額約2億1,000万円について
市は自治会活動の課題認識がない中で莫大な自治会振興補助金を交付している。今後、住民の和が損なわれたりコミュニティー崩壊を招かない為にも、制度や補助金の理念が反映されるよう指導啓発を強化すべきである。
- 質疑 8** 区のまちづくり推進事業について
今年度より5つの区では、特性を活かした事業が計画されています。
今後は住民の意見・要望が十分に反映できるよう、まちづくり懇話会での協議だけでなく地域での説明会や意見交換会等で、より多くの市民との情報の共有に取組み実施していただきたい。

くまもと未来

- 質疑 1** 桜町再開発の関係予算について
補正予算「都市計画総務費桜町地区市街地再開発事業1,060万円」、及び当初予算「MICE施設整備計画策定経費2,200万円」。それぞれの具体的内容は。
また、この予算を認める事は、桜町へのMICE施設を議会が認めたと見るのか、市長の認識を尋ねる。
- 質疑 2** 特別支援学級の加配について
県の方針で4月より5人に1人から6人に1人となったが、市の予算でフォローすべきでは。
- 質疑 3** 熊本城マラソンについて
根強いファンの定着のために、抽選方式より先着順のほうがよいのではないか。また、さらなる活性化のために、定員を増やすべき。
- 質疑 4** 財政調整基金について
財政調整基金の適正規模の金額はあるのか。
- 質疑 5** 花畑桜町関連事業について
産業文化会館解体・広場整備・MICEに関する内容・条件・経過を詳細に説明を求める。

～締めくくり総括質疑～

- ・入札残
入札残の要因の精査及び有効活用について
- ・桜町花畑町再開発
丁寧な説明や報告と意見交換時間の必要性、観光客を含めた人々の回遊性及び仮ターミナルについて
- ・城東保育園の移転・新設
保育園新設予定地の進入路の確保及び保育環境改善の計画について
- ・都市政策研究所
研究所の政策形成能力が存分に発揮される研究員の選考について
- ・アジア太平洋都市サミット
本市で開催される第十一回アジア太平洋都市サミットにおける本市の魅力アピールするための施策について
- ・防災、減災対策推進
早急な小中学校施設の非構造部材の耐震対策について

いたしました。

また、桜町・花畑地区再開発事業関連予算については、原案の採決後、関連予算の執行を凍結し、特別委員会を設置し、議論をしていくことを趣旨とした附帯決議案が提出され、賛成多数により決議されました。(詳細はトピックスをご覧ください)

なお、総括質疑における各会派の質疑の概要及び締めくくり総括質疑項目は以下のとおりです。

- 質疑 6** 国県市道関係事業について
予算と権限増により、職員の超過勤務が増えている。適正な執行が出来るようにすべき。
- 質疑 7** 夏休みプール開放事業について
課題が余りにも多すぎる。マニュアルの見直しを行うべき。
- 質疑 8** 多文化共生経費について
フェアトレードについての積極的取り組みと、来年行われる国際会議への支援を。
- 質疑 9** その他
緑のじゅうたん基金について。

市 民 連 合

- 質疑 1** 社会福祉法人への対応について
社会福祉法人の不正事案の問題は、結果として本市の福祉行政に対し市民からの信頼を失くした。再発防止策として監査体制の強化等が必要。
- 質疑 2** 食肉センターについて
廃止予定を来年3月31日とされているが、長きにわたりセンターで働き、支えてこられた方々への対応についてどのように考えているのか。
- 質疑 3** 市営住宅の空家対策について
空室が平成21年に219戸、平成24年2月末では455戸(未修理)となっている。空室の修理について補正予算措置等、早急な対応を望む。
- 質疑 4** 地域防災力の向上策について
防災・減災対策として、今後の取り組みと並行して地域防災力の熟度調査を行い地域格差を把握し、具体的な対策を講じる必要がある。
- 質疑 5** 地方公務員賃金7.8%分の地方交付税の削減について
地方分権に逆行するやり方でデフレ脱却とも矛盾する。本市はこれまで国以上の行政改革を行っており、地域経済への影響もあるがどう考えるか。

公 明 党

- 質疑 1** 緊急経済対策関連追加補正予算について
元金臨時交付金は、地方が実質負担することなく、次年度単独事業にも使える、使い勝手の良い財政措置であり、防災・減災対策や経済活性化につながるように、価値的に効率よく運用して頂きたい。
- 質疑 2** 平成25年度政策的経費各局要求状況の概要について
平成25年度より新たに作成・公開されている政策的経費の各局要求状況の概要について、事業の詳細を記載する事や、査定理由を記載するなど、工夫してより分かり易い資料に改善すべきである。
- 質疑 3** 地域経済活性化の推進について
「新卒応援ハローワークランチ」の大学内への設置を促すとともに、地場企業を支援しながら、熊本の若者が、熊本で安心して長期にわたって働くことが出来る状況を作り出す事業をすべきである。

共 産 党

- 質疑 1** 桜町・花畑再開発について
MICE施設に予定されている多目的ホールは、産文ホールのような固定席の芸術文化鑑賞を目的としたホールと質的に違う。まだ使える産文会館を改修し、利活用すべき。
多額の税金を投じ、維持管理費など大きな財政負担を伴うMICE施設建設は見直し、既存施設の利活用を。

※総括質疑の会派ごとの掲載スペースは、質疑の会派持ち時間により割り当てられています。

- ・農業政策
TPP交渉参加表明による本市への影響懸念に伴う農業分野での国への働きかけについて
- ・福祉の充実
重度障害医療現物給付の実現、特定健診やがん検診などの自己負担の軽減及び子どもの医療費助成の財源拡充について
- ・補正予算の活用
国の緊急経済対策予算や補助金を活用した教育施設の環境整備について
- ・江津湖の利活用
国連「生命の水 最優秀賞」にノミネートされた江津湖の観光資源としての利活用や、後世に引き継ぐべき重要な水資源としての保全について

※予算決算委員会の模様は委員会会議録及び熊本市議会ホームページの議会中継をご覧ください。

本会議質問から

第1回定例会では、8人の議員が個人質問を行いました。質問順に主な質問事項は次のとおりです。なお、質問の詳細は熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

自民党



竹原 孝昭 議員

質問 1 観光立市熊本都市宣言と今後の観光振興
一千年以上の歴史を誇る藤崎宮秋の例大祭とお城まつりの実施時期を調整し全国に魅力をアピールできないのか。

答弁 お城まつりやみずあかり等と一体となった秋の風物詩として、PRしていく手法について実現に向け検討していきたい。



質問 2 花畑地区の再開発は十分な議論がなされたか
当初計画からの変更に対して時間的余裕もなく市民の理解と議会との議論もなく予算が提案されこれでいいのか。

答弁 中心市街地の再デザインに向け熟度を上げる中で、今後議会での議論はもとより、多くの市民からの様々な意見をいただきたい。

くまもと未来



田尻 善裕 議員

質問 1 問題ある社会福祉法人の適正化と市の責任は
市が改善命令を出した社会福祉法人。自浄作用が働かない法人であれば、解散させるべきではないか。

答弁 今後の法人側の対応を見ながら、手順を踏んで対処しつつ、抜本的な改善につながる措置を徹底して求めていくことが市の責任。

質問 2 桜町花畑再開発は、一旦立ち止まり考えては
多大な税金を投資するコンベンション施設構想。市の未来を考え、交通問題解決や投資効果を考えたものにすべきでは。

答弁 MICE 機能の充実、大きな経済波及効果を生み、都市知名度の向上にも寄与。投資効果が上る幅広い集客が望める施設整備に取組む。



市民連合



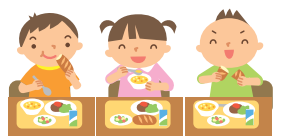
上田 芳裕 議員

質問 1 在宅医療構築への現状と将来展望について
高まる在宅医療ニーズに対し、在宅で医療と介護サービスを受けるための現状課題と今後の取り組みについて。

答弁 地域包括ケアシステムを構築していくためには、医療と介護の連携が重要であり、今後、地域毎のネットワーク強化に取り組む。

質問 2 給食費の多子世帯の負担軽減について
小中学校の給食費値上げに対し、多子世帯へは少子化・子育て支援として負担軽減策を検討できないか。

答弁 子育て支援策としての優先順位の問題や受益者負担に基づく公平性の確保等の課題もあると考えている。



公明党



藤岡 照代 議員

質問 1 地域活力を作り出す産業・経済の振興
中小企業金融円滑化法期限到来後の中小企業者への支援及び商店街の再生に対しどのように取り組むのか。

答弁 中小企業支援では信用保証料全額補助の継続、商店街再生では空き店舗対策をはじめ商店街が自ら取り組む活性化事業への支援を行う。

質問 2 安心の子育て支援について
待機児童解消に向け保育士の人材確保・処遇改善への取り組みは？また病児・病後児保育施設整備の今後の計画は？

答弁 潜在保育士を対象とした再就職支援研修会の開催や国の事業を活用していく。病児・病後児保育施設は、東区へ1力所増設を計画。



共産党



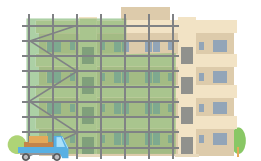
益田 牧子 議員

質問 1 市民文化の拠点である産業文化会館の再開を
築32年の産業文化会館を壊すのはもったいない。広場化の約20億円の予算は撤回し、再開のために使うべきだ。

答弁 安全性・快適性の確保に多額の経費を要することもあり、新たなまちづくりに向け閉館。新たな方向性を実現するにあたり広場を整備。

質問 2 300億円の MICE 建設でなく改修・修繕へ転換を
コンベンションは今ある施設の有効活用をし、市営住宅、市有建築物、学校の長寿命化計画を立て、改修・修繕を！

答弁 MICE の推進は、九州の交流拠点都市を目指す都市戦略上も重要。今後議員各位、専門家や市民の意見を伺い基本計画の策定を行う。



自由クラブ



北口 和皇 議員

質問 1 地産地消条例の制定について
地産地消の取り組みに実効性を持たせるため、地元農産物使用の数値目標を掲げた地産地消条例の制定を求める。

答弁 熊本市産業成長戦略において、食産業を成長産業と位置付け重点的に支援することとしており、条例化も含め今後研究してまいる。



質問 2 キャッチ・アンド・リリース禁止条例の制定を
江津湖の貴重な生態系を保全するため、在来魚を捕食するブラックバス等外来魚の再放流を禁止する条例を制定すべき。

答弁 生態系の保全のため、様々な啓発を行っているが、再放流の禁止も有効な手段と考え、25年度に条例の実現化に向けた検討を行う。

自民党



澤田 昌作 議員

質問 1 保育士の待遇を改善する人材確保策について
全国的に問題となっている保育士不足に対し市としての保育士確保に向けた支援策について。

答弁 潜在保育士を対象とした実地研修会を市保育園連盟と共同で開催。保育士等処遇改善臨時特例事業を活用し保育士の人材確保に努める。

質問 2 来春開校予定の力合西小の安全対策について
西廻りバイパスとの交差点で交通量の多い熊本新港線への歩道橋設置など通学路の安全対策について。

答弁 学校、保護者、地域の関係団体で構成する学校安全対策協議会と連携して検討すると共に、警察や道路管理者に対策を要望していく。



自民党



くつき 信哉 議員

質問 1 政令市としての要望活動について
直接国に施策や方針の要望を行うことができる。議会と共に本市の将来を見据えた、効果的な活動を求める。

答弁 国に対し、本市の実情や施策の必要性を適時に分かりやすく伝えていく。また、市議会とも協力しながら効果的な要望活動に努める。

質問 2 合併の総括、屋外運動場の駐車場について
現在、私有地を駐車場としている。グラウンドゴルフ等多くの利用があり、今後も利用者の目線で検討を！

答弁 体育施設の駐車場は、敷地内や公有地に確保することとしている。今後、利用者状況等を踏まえ、関係部局と協議していく。



平成25年第1回定例会の議決結果(会派)

議案番号・件名	会 派 別 賛 否							議決結果
	自民党	くまもと未来	市民連合	公明党	共産党	日本教育	自由ク	
議第1号 平成25年度熊本市一般会計予算	○	○	○	○	×	○	○	可決
議第13号 平成25年度熊本市公共用地先行取得事業会計予算 (桜町・花畑再開発関連)	○	○	○	○	×	○	○	可決
議第23、191号 平成24年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○	○	可決
議第62号 熊本市下水道条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第63号 熊本市公共交通基本条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
議第188号 熊本市食肉センター条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	×	○	退席	可決
議第189号 熊本市食肉センターの廃止に伴う支援等に関する条例の制定について								

可決された意見書・決議

発議第4号	グループホーム等福祉施設における防火安全対策の強化を求める意見書について
発議第5号	メタンハイドレートの実用化を求める意見書について
発議第6号	配合飼料の価格高騰対策を求める意見書について
発議第7号	ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書について
発議第8号	患者数が特に少ない希少疾病用医薬品（ウルトラ・オーファンドラッグ）の開発促進・支援のための法整備等を求める意見書について



全会一致
の意見書

市議会では、意見書を国会又は関係行政庁に提出することで、議会としての意思を表明します。
第1回定例会で全会一致により可決された意見書5件の要旨は次のとおりです。

発議第4号 グループホーム等福祉施設における防火安全対策の強化を求める意見書について

今年2月、長崎市のグループホームで多数の入居者等が死傷する火災事故が発生しました。

政府は、平成19年にスプリンクラーの設置義務を延床面積275㎡以上の施設にまで拡大し、厚生労働省も小規模施設への設置費の補助制度を創設しましたが、依然としてスプリンクラーが設置されていない小規模施設において、火災による被害が相次いでいます。

よって、政府におかれては、早急にグループホーム等福祉施設の防火安全対策を強化されるよう、強く要望いたします。

政府も価格高騰に対処すべく施策を講じていますが、生産者の負担額は増加しており、畜産経営の急激な悪化が危惧されています。

よって、政府におかれては、畜産・酪農の経営安定化を図るため、配合飼料の価格高騰対策を拡充されるよう強く要望いたします。

発議第5号 メタンハイドレートの実用化を求める意見書について

一昨年の東京電力福島第一原発事故により、日本では原子力に依存しない国づくりが求められており、そのためには、分散型エネルギー社会の構築が望まれます。

そうした中、国内天然ガス消費量の100年分にも相当するメタンハイドレートが存在するとの試算もあり、エネルギー資源の多くを輸入に頼っている日本にとって、メタンハイドレートは貴重な国内資源として一日も早い実用化が求められます。

よって、政府におかれては、メタンハイドレートの実用化を強力に推進されるよう強く要望いたします。

発議第7号 ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書について

脳脊髄液減少症とは、頭頸部等への衝撃により脳脊髄液が漏れ続け、頭痛や吐き気、思考力低下等の様々な症状が複合的に発症する疾病と言われています。

医療現場においては、この疾病に対する治療法として硬膜外自家血注入療法（いわゆるブラッドパッチ療法）の有用性が認められつつも、保険適用外であり、診断・治療基準も定まっていません。

よって、政府におかれては、ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療を推進されるよう強く要望いたします。

発議第6号 配合飼料の価格高騰対策を求める意見書について

畜産・酪農は食料の供給源であるとともに、我が国の重要な産業として地域経済にも大きく貢献しています。

畜産物生産に不可欠な配合飼料の価格は、平成20年以降、高止まりで推移していますが、昨年の米国での記録的干ばつの影響により、とうもろこしの収穫量が減少したことで国際穀物価格が急騰し、配合飼料価格も大幅な値上げとなっています。

発議第8号 患者数が特に少ない希少疾病用医薬品（ウルトラ・オーファンドラッグ）の開発促進・支援のための法整備等を求める意見書について

難病と言われる疾病には有効な治療薬・治療法がなく、患者数が特に少ない希少疾病用医薬品は医療上の必要性が高く、その開発を円滑に進めることが重要です。

そのため、希少疾患関係患者団体はこれまでに署名活動など、政府・関係省庁への積極的な要請活動を行ってきました。その結果、政府からも前向きな検討が強化されましたが、未だ創薬実現に向けた明確な前進は見られません。

難病と闘っている希少疾病患者は日々進行する病状を抱え、一刻の猶予も待てない状況であり、一日も早い希少疾病の治療法確立を待ち望んでいます。

よって、政府におかれては、希少疾病用医薬品の開発促進・支援のための法整備等を早期に実現されるよう強く要望いたします。

本定例会において各委員会の構成が変更されました

委員会について

委員会は議案等を専門的に詳しく審査し、本会議での意思決定を補助する分科会のような機関です。委員会には常時設置されている常任委員会と必要に応じ設置される特別委員会、そして議会運営に関する事項について審査、決定を行う議会運営委員会があります。全議員はそれぞれ2つの常任委員会に所属し、そのうち一方は予算決算委員会となります。

このほか、委員会とは別に、地方自治法により定められた協議等の場が設置されています。

常任委員会	予算決算委員会(定数49) 予算及びこれに関連する事項 決算及びこれに関連する事項	坂田 誠二 委員長 田尻 将博 副委員長	正副委員長を除く全議員
-------	---	-------------------------	-------------

議会運営委員会	議会運営委員会(定数13)	三島 良之 委員長 家入 安弘 副委員長	上田 芳裕 大石 浩文 坂田 誠二 下川 寛 園川 良二 白河部 貞志 牛嶋 弘 益田 牧子 澤田 昌作 藤岡 照代 江藤 正行
---------	---------------	-------------------------	--

※各委員会名簿は正副委員長を除き、議席番号順に掲載

総務委員会（定数8）

総務局、財政局、会計総室、消防局、選挙管理委員会、監査委員、人事委員会の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項



原口 亮志 委員長
(自民)



西岡 誠也 副委員長
(市民連合)



浜田 大介
(公明)



倉重 徹
(自民)



上野美恵子
(共産)



田尻 将博
(市民連合)



江藤 正行
(自民)



下川 寛
(未来)

企画教育市民委員会（定数8）

企画振興局、都市政策研究所、教育委員会の所管に属する事項



東 すみよ 委員長
(市民連合)



園川 良二 副委員長
(公明)



小佐井賀瑞宜
(自民)



松野 明美
(未来)



上田 芳裕
(市民連合)



澤田 昌作
(自民)



大石 浩文
(未来)



牛嶋 弘
(自民)

福祉子ども委員会（定数8）

健康福祉子ども局、病院局の所管に属する事項



藤岡 照代 委員長
(公明)



高本 一臣 副委員長
(自民)



福永 洋一
(市民連合)



井本 正広
(公明)



くつき信哉
(自民)



那須 円
(共産)



白河部貞志
(未来)



竹原 孝昭
(自民)

環境水道委員会（定数8）

環境局、上下水道局の所管に属する事項



田中 敦朗 委員長
(未来)



寺本 義勝 副委員長
(自民)



齊藤 聡
(自民)



有馬 純夫
(公明)



家入 安弘
(市民連合)



落水 清弘
(自民)



田尻 清輝
(未来)



古川 泰三
(日本教育)

経済委員会（定数9）

農水商工局、観光文化交流局、農業委員会の所管に属する事項



重村 和征 委員長
(未来)



大島 澄雄 副委員長
(自民)



藤永 弘
(公明)



三島 良之
(自民)



北口 和皇
(自由ク)



田辺 正信
(市民連合)



田尻 善裕
(未来)



津田征士郎
(自民)



益田 牧子
(共産)



都市整備委員会（定数8）

都市建設局、交通局の所管に属する事項



紫垣 正仁 委員長
(自民)



田中 誠一 副委員長
(未来)



鈴木 弘
(公明)



田上 辰也
(市民連合)



満永 寿博
(自民)



坂田 誠二
(自民)



藤山 英美
(未来)



税所 史昭
(自民)

※財政局、会計総室、監査委員、病院局、上下水道局、交通局の所管事項については予算決算委員会の所管に属する事項を除く。
※会派正式名称 自民…自由民主党熊本市議団 未来…くまもと未来 市民連合…市民連合 公明…公明党熊本市議団
共産…日本共産党熊本市議団 日本教育…日本の教育を考える会 自由ク…自由クラブ

特別委員会	総合的なまちづくり対策に関する特別委員会(定数12) 安全で安心な市民生活を実現するための諸問題と災害に強いまちづくりや危機管理対策の強化に関する調査を行うこと。	藤山 英美 委員長 小佐井賀瑞宜 副委員長	福永 洋一 議員 浜田 つか 議員	重村 和征 議員 須藤 すみ 議員	竹原 孝昭 議員 税所 史照 議員	北口 和皇
	中心市街地の活性化に関する特別委員会(定数12) 中心市街地活性化及びこれに関する事業の諸問題と対策に関する調査を行うこと。	家入 安弘 委員長 満永 寿博 副委員長	田上 辰也 議員 井大 正澄 議員	藤永 弘正 議員 紫垣 正善 議員	上野 美恵子 議員 田中 誠一 議員	古川 泰三
	財政運営のあり方に関する特別委員会(定数12) 大都市にふさわしい財政運営の健全化と財政基盤の強化を図るための諸問題の調査を行うこと。	満永 寿博 委員長 松野 明美 副委員長	寺本 義勝 議員 高西 一誠 議員	井本 正広 議員 原田 亮志 議員	園川 良二 議員 三島 良二 議員	田辺 正信
	議会活性化特別委員会(定数10) 議会活性化のための諸改革に関する調査を行うこと。	江藤 正行 委員長 下川 寛 副委員長	上田 芳裕 議員 藤永 弘 議員	大石 浩文 議員 藤岡 照代 議員	津田 征士郎 議員 牛嶋 弘 議員	益田 牧子 議員 田辺 正信 議員
	桜町・花畑地区再開発事業の附帯決議に関する特別委員会(定数8)(※新設) 桜町・花畑地区再開発事業に関する調査を行うこと。	江藤 正行 委員長 下川 寛 副委員長	藤岡 照安 議員	竹原 孝昭 議員 落水 清弘 議員	益田 牧子 議員 田辺 正信 議員	

協 議 等 の 場	《地方自治法第10条第1項》	全員協議会（定数49）		全議員											
		予算決算委員会理事会（定数8）		江田 正行 田尻 善裕	会長 副 会 長	福大 永石 藤岡 浩文	洋一 一文 照 代	満税 永所 益 田	寿史 博熙 牧 子	坂田 誠二 (予算決算委員長)	田尻 将博 (予算決算副委員長)				
		議会広報委員会（定数10）		澤田 昌作 田尻 善裕	委員長 副委員長	小佐井賀瑞宜 福永 洋一	田上 辰也 浜田 大介	井本 正広 田中 敦朗	那須 須 紫垣 正仁	円 正					
		政策条例検討会（定数6）		倉重 徹 大石 浩文	会長 副 会 長	田上 辰也 浜田 大介	澤田 昌作 益田 牧子								

中華民国(台湾) 高雄市と友好を深める

国際交流熊本市議会議員連盟 津田征士郎会長と中華民国(台湾) 高雄市議会国民外交促進会 陳麗娜会長による友好交流に関する覚書の締結

平成25年3月23日、中華民国(台湾) 高雄市議会訪問団一行32名が熊本市議会を訪問されました。津田征士郎会長が歓迎の挨拶をし、高雄市議会国民外交促進会 陳麗娜会長、高雄市議会 許崑源議長がそれぞれご挨拶をされ、幸山政史市長立会いのもと双方の会長が今後の友好関係促進と相互交流促進を図るための覚書書に署名、記念写真撮影を行いました。

その後、幸山政史市長、台北駐福岡経済文化弁事 曾念祖処長にご挨拶をいただき、出席議員の紹介を行いました。

また、熊本市議会の概要及び熊本市政についての説明を行いました。



調印式の様子

6月議会から 対面方式を導入します

熊本市議会では、議会活性化の一環として、平成25年第2回定例会より「対面方式」を採用することとなりました。「対面方式」とは、市議会議員が議場に設けられた発言席から市長や市執行部へ顔を向け、質問を行うものです。

これまででは、質問者が演壇から他の議員や傍聴者に向かって発言しており、質問者の背後に市長や執行部が並ぶ格好になっていました。

この対面方式を導入することにより、質問者が市長や執行部と向き合うため、質問や論議に、より緊張感が生じるようになります。



蔚山市(韓国)との交流促進 マラソン大会に議員団で参加

友好協力都市である蔚山広域市より、2013年3月30日(土)開催の第10回蔚山毎日国際太和江マラソンに交流団の派遣依頼があったため、津田征士郎議員を団長とする熊本市議会議員団で蔚山市長を表敬訪問し、同大会に参加しました。

2月には第2回熊本城マラソンに、蔚山広域市議会議員をはじめとする代表団を招待するなど、マラソンを媒介として、両市間の交流を深めることができました。



太和江マラソン大会



蔚山市長を表敬

傍聴について

■ 本会議

定例会、臨時会の本会議はどなたでも自由に傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議の開催される日に議会棟5階で受け付けをしてください。(席の予約等は受け付けておりません。)

■ 委員会

各常任委員会、特別委員会、議会運営委員会は委員会室外に設けられたモニターテレビを通じてどなたでも自由に傍聴(視聴)することができます。

傍聴を希望される方は、委員会の開催時間に自由にご視聴ください。(録画による再放送等はいりません。また、職員が職務上同席させていただきますことがあります。)

インターネット中継について

定例会、臨時会の本会議は市議会ホームページで生中継・録画中継を行っています。また、予算決算委員会は録画中継を行っています。

会議録について

平成3年以降の定例会・臨時会会議録及び平成15年5月以降の各委員会会議録を市議会ホームページに掲載しています。

編集後記



議会棟前にて

議会広報委員会(10名)／澤田昌作委員長、田尻善裕副委員長、小佐井賀瑞宜委員、福永洋一委員、浜田大介委員、井本正広委員、田上辰也委員、田中敦朗委員、那須門委員、紫垣正仁委員

今回から新しい委員を迎えて編集作業を行っております。毎回、市民の皆さんにとって分かりやすく伝わる広報を、と話し合いながら作成をしていますが、まだまだ、読みづらい部分もあります。さらに、議会が身近になるような議会だよりを目指して努力しますので、よろしくお願いします。

議会広報委員 田中敦朗

第2回定例会のお知らせ	
平成25年第2回定例会日程	
6月6日	開会(市長提案理由説明)
10日~12日	質問
14日~	予算決算委員会(概況説明)、同分科会、部門別常任委員会
19日	予算決算委員会(分科会長報告、締めくくり総括質疑、採決)
21日	閉会(委員長報告、質疑、討論、採決)

※日程及び開議時間は議事の都合上変更されることがあります。

点字・音声版の発行のお知らせ

今回発行される熊本市議会だよりから、視覚障がいのある方を対象に点字・音声(デージー版)版の作成・発行を開始します。

点字・音声(デージー版)版を希望される方は、直接議事課(328-2687)へお電話いただくか、必要事項(住所・氏名・電話番号・点字か音声(デージー版)のいずれを希望するか)を記載のうえ、メール・FAX・郵便にて下記の議会事務局までご連絡ください。

発行◎熊本市議会
編集・文責◎熊本市議会広報委員会
〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号
TEL.096-328-2682(議会事務局)
FAX.096-324-3284
第007号
電子メール gikaigiji@city.kumamoto.lg.jp